

1. 農業経営診断予備調査書 (1-1)

(採卵鶏 直販)

(平成 年 月 日現在)

診断希望事項									
1 生産法人の概要	法人の形態	①個人経営 ②法人経営		従業員数	役員	男	人	女	人
	法人名				従業員	男	人	女	人
	所在地	〒	TEL		家族	男	人	女	人
					パート(8時間換算)	男	人	女	人
	代表者名	(年齢)			計	男	人	女	人
	営業年数	年	(うち法人化 年)	作業時間	①1日当り平均 ②年間				
	決算日	月	日	休日数	①月 日 ②年間 日				
	集団生産	①有り ②無し		後継者	①有り ②未定 ③無し				
	認定農業者	①第1回認定日 H 年 月							
	エコ・ファーマー	①認定日 H 年 月							
経営の業態	①単一経営 ②複合経営()								
2 生産部門☆該当に○印を	(1)耕種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作		(5) 飼育法等の特色					
		④豆類作 ⑤いも類作 ⑥飼料作		①オープン式					
		⑦工芸作物() ⑧施設野菜作		②無窓式					
		⑨路地野菜作 ⑩果樹作							
		⑪施設花き作 ⑫露地花き作							
		⑬その他()							
	(2)畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛		(6) 作業記録・日誌の有無(有りに○印)					
		④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他		① 鶏舎内作業記録					
	(3)養蚕	①養蚕		② ワクチン接種記録					
	(4)加工	①農産物加工(品名)		③ 抗菌性物質投与記録					
②畜産物加工(品名)		④ 品質チェック記録							
(販売)	③林産加工(品名) ①朝市②直売所③インターネット④その他		⑤ 飼育・出荷記録						
3 農業経営の現状と計画	◇作目・部門名	作物面積・飼養頭数	生産量	◇採卵鶏生産の課題					
	①	㍔	トン	(1) 生産部門(○印をつける)					
	②			① 鶏舎の基盤整備					
	③			② 防除内容の現地表示					
	④			③ 鶏舎の洗浄・消毒の徹底					
	経営面積合計	㍔	トン	④ 改良品種の最適化					
	◇経営耕地	地目	面積	⑤ 飼料等の見直し					
	①所有地	畑・水田・果樹・その他	㍔	⑥ 鳥インフルエンザ対策					
	②借入地	畑・水田・果樹・その他	㍔	⑦ 収卵後の検卵・保存・出荷					
	◇作業受委託	作業内容	面積等	(2) 面積					
委託・受託	①管理 ②摘採	㍔	① 所有鶏舎 m ² 棟						
4 生産方式	◆機械・施設名	形式・性能	台数・面積等	◆飼育方式の問題点					
	①給飼式								
	②鶏舎形式								
	③鶏舎区分	育雛・育成舎・鶏舎							
	④鳥糞処理	発酵糞の袋埋機							
	◆農用地の現状	① a区画主体	②小ブロックに分散	③					

1. 農業経営診断予備調査書 (1-2)

(採卵鶏 直販)
(平成 年 月 日現在)

5 販売関係の現状と方針	(1) 消費者のニーズ把握 ①している ②していない (2) 対象とする客層を ①決めている ②決めていない (3) 直販の場合の顧客名簿 ①有 ②無 (4) 販売計画 ①有 ②無 (5) 計画の達成度 ①高い ②普通 ③低い (6) 達成しない理由 (7) 代金 ①農協経由 % ②現金 % ③その他 % (8) 販売上の問題点 (9) 今後の販売方針戦略の課題	(10) 農産物の部門別・生産量と販売額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>生産品目</th><th>生産量(%)</th><th>販売額(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑤</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>計</td><td>トン</td><td>千円</td></tr> <tr> <td></td><td>(100%)</td><td>(100%)</td></tr> </tbody> </table> (11) 流通(販売)先の割合 ①農協・市場 % ②契約 % ③スーパー・外食 % ④直販・朝市等 % ⑤インターネット・宅番 % ⑥観光 % 計 (100%)	生産品目	生産量(%)	販売額(%)	①			②			③			④			⑤			計	トン	千円		(100%)	(100%)
生産品目	生産量(%)	販売額(%)																								
①																										
②																										
③																										
④																										
⑤																										
計	トン	千円																								
	(100%)	(100%)																								
6 財務会計	(1) 複式簿記 (パソコン活用 有・無) (2) 借入金の内訳 ①スーパーL資金・S資金 千円 ②経営体育成強化資金 千円 ③農業近代化資金 千円 ④農業改良資金 千円 (3) キャッシュフロー計画 有 ・ 無 (4) 計画達成 した ・ しない (5) 資金繰表 有 ・ 無	(6) 借入金の投資内容 (7) 利益計画達成の課題																								
7 人事・労務関係	(1) 人手 ①十分 ②普通 ③不足 (2) 家族協定書 有 ・ 無 (3) 就業規則 有 ・ 無 (4) 給与規定 有 ・ 無 (5) 退職規定 有 ・ 無 (6) 労働時間 有 ・ 無 (7) 福利厚生 有 ・ 無 (8) 安全衛生規則 有 ・ 無	(9) 経営組織図 (作業分担図)																								
8 各種マニュアル整備	(1) 卵品質基準管理マニュアル 有 ・ 無 (2) 採卵鶏衛生管理マニュアル 有 ・ 無 (3) リスク管理マニュアル 有 ・ 無 (4) 施設設備管理マニュアル 有 ・ 無 (5) 飼養管理マニュアル 有 ・ 無 (6) その他 有 ・ 無	※経営上の問題点(該当に○印) ①従業員の高齢化 ⑥設備の老朽化 ②担い手の減少 ⑦生産効率の低下 ③販売価格の低下 ⑧生産コストの増加 ④機械化の遅れ ⑨生産量の低下 ⑤環境リスク ⑩その他()																								

2.診断調査表(2-1)

(採卵鶏 直販)

1.農業経営の沿革(面積・機械化の導入レベル・販売先の部門等)					
(1)経営規模の推移と内容					
(2)経営規模 ①就業人数 ②飼育羽数 ③100羽当り経常所得					
(3)現在の経営形態 ①家族 人 ②雇用 人 ③補助者					
(4)養鶏経営 ①参加者 人 ②雇用 人 ③補助者					
(5)現在の経営の特色					
2.経営コンセプト(○印をつける)					
(1)食の安心・安全を基本コンセプトにしている。 ①いる ②いない					
(2)販売先(納入)を決めて生産している。 ①いる ②いない ③一部契約					
(3)国産銘柄鶏へのこだわりを持っている。 ①いる ②いない ③一部					
(4)省力化・機械化を導入して効率化を図っている。 ①いる ②いない ③まだ不十分					
(5)ISO14001・19001の導入 ①いる ②いない ③検討中					
3.鶏種別生産量					
鶏種	素雛	成鶏	成鶏100羽当産卵	破卵率	規格外卵率
	羽	羽	kg	%	%
	羽	羽	kg	%	%
	羽	羽	kg	%	%
合計	羽	羽	kg	%	%
4.鶏舎新築・改築・廃棟の羽数計画					
年度	新築 羽数	改築 羽数	廃棟 羽数		
年					
年					
年					
年					
構成比	%	%	%		
5.採卵鶏品種					
(白色卵殻鶏)					
デカルプ・ラムダ	ハイライン・ロー	ジュリア	イサ・ホワイト		
(褐色卵殻鶏)					
イサ・ブラウン	ポリス・ブラウン	ボバンス・ゴールド	ボバンス・ゴールドライン	もみじ	
(国産銘柄鶏・日本農林規格JAS・38種)					
会津地鶏	エーコク	久連子鶏	芝鶏	土佐九斤	蓑曳鶏
伊勢地鶏	熊本種	黒柏鶏	黄斑プリマスロック	土佐地鶏	宮地鶏
岩手地鶏	沖縄髭地鶏	コーチン	軍鶏	対馬地鶏	蜀鶏
インギー鶏	尾長鶏	声良鶏	小国鶏	名古屋種	
烏骨鶏	河内奴鶏	薩摩鶏	矮鶏	比内鶏	
鶉矮鶏	雁鶏	佐渡髭地鶏	東天紅鶏	三河種	
ウタイチャー	岐阜地鶏	地頭鶏	ロードアイランドレッド	蓑曳矮鶏	

2.診断調査表(2-2)

(採卵鶏 直販)

1.鶏舎装備機械器具の状況		2.稼働率 ① 平成 年・ 回 転	
		② 目標 年・ 回 転	
①施設設備		②施設概要	
計量器	台	敷地面積 m ²	
人体用消毒噴霧器	台	建築面積 m ²	
スプレー用噴霧器	台	育雛 開放	m ²
動力噴霧器	台	鶏舎 無窓	m ²
ワクチンストッカー	台	採卵 開放	m ²
ショベルローダー	台	鶏舎 無窓	m ²
ダンプカー	台	採卵処理所 m ²	
自家発電機	台	事務所 m ²	
警報機	式	車庫兼機械器具庫 m ²	
自動給餌器	台	汚水槽	
ガスブルーダー	台	井戸	
チェックガード	台	受水槽	
丸型自動給水器	台		
幼雛用給水器	台		
消毒用ポリ	台		
餌付け用ポリ	台		
消毒槽	台		
投薬タンク	台		
餌付け箱	台		
配餌車	台		
ハイモニック	台		
カーテン	台	③採卵鶏生産費 円	
温水育雛機(給温システム)	台		
細霧システム	台		
集卵ベルト	台		
検卵器	台	④従業員 内常時 人	
洗卵器	台	内臨時 人	
選別機器	台	内組合員 人	
		内組合員 人	

3.採卵鶏飼育施設運営上の課題

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ① 従業者の高齢化 | ⑨ 機械の標準使用法の不備 |
| ② 従業者の確保難 | ⑩ 出荷時作業の改善 |
| ③ ランニングコストに見合う生産量の確保 | ⑪ ブランド・デザイン等の開発 |
| ④ 肉品質のばらつき・異常鶏の発生 | ⑫ 販売先の確保・固定客化 |
| ⑤ 作業システムの不備 | ⑬ その他 |
| ⑥ 生産工程作業のアンバランス | |
| ⑦ 生産効率・施設稼働率の低下 | |
| ⑧ 品質査定基準運用の不備 | |

3. 診 断 調 査 表

(採卵鶏 直販)

4.販売・受注状況・販売活動の特色(消費者交流など)

品質	販売先	受注(契約など)	利益率
優品	%	%	%
良品	%	%	%
並品	%	%	%
加工品	%	%	%
野菜	%	%	%
米	%	%	%
	%	%	%
	%	%	%
	%	%	%

5.生産・技術・設備上の問題点

6.採卵鶏飼育・作業技術上の問題点

7.労務状況と運営上の問題点

4. 収益と経営費調査表

(4-2)

(単位: kg、円、%)

項 目			県平均 A	1000羽当りB	摘 要	H 年度実績C	H 年度実績D	D/A×100
粗 収 益	生産量			17,000				
	販売単価			250	200円～300円/kg			
	生産額			4,250,000				
	副産物収入			94,500				
	合 計			4,344,500	①			
経 営 費	変 動 費	直 接 生 産 費	素畜費	950,000				
			飼料費	1,924,470				
			自給飼料費	0				
			衛生費・種付費	112,180				
			光熱動力費	90,013				
			諸材料費	0				
			小農具費	0				
			賃料料金	0				
			雇用労賃	330,400				
			その他	0				
			計	3,407,063				
		出 荷 経 費	資材費	270,000				
			運賃	0				
			手数料	0				
			その他	0				
			計	270,000				
		小 計			3,677,063			
	固 定 費	減価償却費	160,531					
		成園費・成畜費	0					
		借地料	0					
		修繕費	57,748					
		その他	0					
		小 計	218,279					
	合 計			3,895,342	②			
成 果	農業所得		449,158	③=①-②				
	所 得 率		10.3%	③÷①				
	家族労働1時間当たり所得		3,342	③÷T(円/時間)				
家族労働見積額			241,920					
自己資本利子見積額			77,512					
自己地代見積額			0					
生産費(全額参入生産費)			4,214,773	④				
利潤			129,727	⑤=①-④				
利潤率			3.0%	⑤÷①				
総労働時間(時間)			448					
家族労働時間			134	T				
雇用労働時間			314					
損益分岐点生産額(円)								
損益分岐点生産量(kg)								
損益分岐点安全率								

(注)出荷1000羽当りの基準値は平成15年静岡県農水部のモデル値

5.養鶏(採卵鶏)1000羽当り労働時間調査表

(単位:時間)

作業名	月												合 計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
餌付													
成鶏管理													
・移動													
・飼料給与													
・鶏の衛生管理													
・畜舎の衛生管理													
鶏卵管理													
・集卵作業													
・包装作業													
鶏糞処理													
・堆肥化処理作業													
・堆肥袋詰													
その他作業													
・鶏卵販売													
・堆肥販売													
合 計													
(うち雇用時間)													

作目別作付け面積及び作業体系(例示)

畜種・ステージ	常時飼養数	飼 養 体 系												備 考
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
育雛舎		入雛 入雛 入雛												底面 暖房
育成舎		育成 育成 育成												
1号鶏舎														

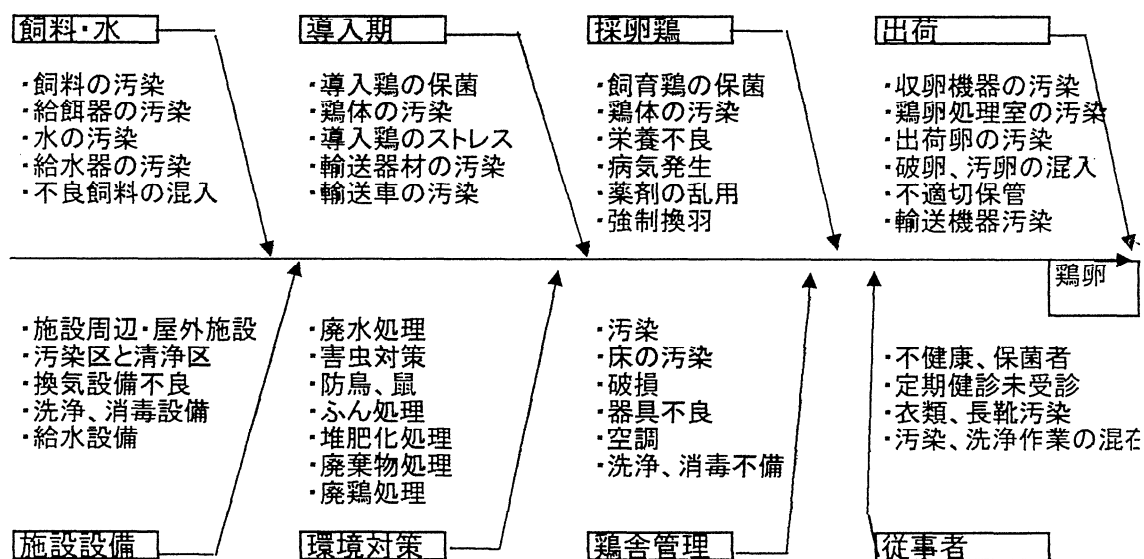
6.採卵鶏の生産工程と現状評価

採卵鶏の生産工程			作業工程	危害	現状評価
育雛	① 鶏舎の洗浄・消毒	消毒薬等	予備消毒、器具・堆積物の排出、鶏舎周辺整備、点検、水洗、本消毒、乾燥、石灰消毒、敷料搬入	サルモネラの汚染	
	② 敷料・器具の搬入	敷料等消毒←保管←輸送←敷料・器具			
	③ 衛生害虫の駆除	消毒薬等		サルモネラの汚染	
	④ 素雛の搬入	輸送←素雛	従事者の衛生管理	輸送ストレス	
	⑤ 飼育			サルモネラの汚染	
	⑥ 異常鶏の排除		健康チェック、薬剤投与、環境チェック、飼料搬入・保管・給与、飲水給与、鼠・衛生害虫の駆除、従事者の衛生管理	感染の拡大	
	⑦ ワクチン接種	ワクチン		疾病の発生	
	⑧ 抗菌性物質の投与	抗菌性物質		抗菌性物質の残留	
	⑨ 温湿度の管理				
	⑩ 給餌	保管←輸送←飼料			
	⑪ 給水	水			
	⑫ 衛生害虫の駆除	消毒薬等			
	⑬ 大雛				
(移動)			鶏舎の清掃、健康チェック、ワクチン投薬、環境チェック、飼料搬入・保管・給与、飲水給与、衛生害虫の駆除、従事者の衛生管理、糞尿処理		
採卵鶏	① 大雛の搬入			サルモネラの汚染	
	② 給餌	保管←輸送←飼料			
	③ 給水	水			
	④ 産卵				
(集卵)					
卵処理	① 検卵		収卵、不良卵の分別、検卵、洗卵、重量選別、包装、保管、衛生害虫の駆除、従事者の衛生管理		
	② 洗卵				
	③ 保管				
	④ 出荷			サルモネラの汚染	

※現状評価は○△×印を記入

危害特性要因図

(該当項目に○印)



(資料出所:衛生管理ガイドライン)

7.100羽当り収益性評価

収益性諸要因分析(採卵鶏)

		ア 全国平均	イ 県平均	ウ 年度実績	エ 年度実績	オ 年度実績	カ (オ÷ア)
成鶏100羽当り年間鶏卵生産量	kg	1,756.0					
生体換算1kg当販売単価	円	169					
100羽1日当り産卵日量	g	4,811					
平均卵価	円	192.6					
成鶏100羽当飼料消費量	kg	2,283					
飼料要求率	%	2.23					
成鶏淘汰率	%	70.5					
成鶏へい死率	%	6.9					

収益性諸要因分析(採卵鶏)

		ア 全国平均	イ 県平均	ウ 年度実績	エ 年度実績	オ 年度実績	カ (オ÷ア)
家族労働者一人当たり年間経常所得千円		2,781					
成鶏100羽当年間経常所得	円	71,450					
労働者一人当成鶏飼養羽数	羽	7,647					
成鶏100羽当年間労働時間	時間	73.3					
雇用依存率	%	40.4					
鶏舎1㎡当年間所得	円	3,114					
鶏舎1㎡当年間鶏卵生産量	kg	157.7					
鶏舎1㎡当成鶏飼養羽数	羽	9.1					
所得率	%	20.2					
売上高経常利益率	%	-2.0					

※全国平均値は中央畜産会2001.4-2002.2肉用鶏畜産経営診断全国集計より

8.採卵養鶏経営診断比較表(全国平均)

経営収支の総括(8-1)

(単位: 千円)

区分		基準値			経営体	比較値
		平均 (経営全体)A	1000羽 B	3,000羽以上	H 年 C 1000羽当り	C/B × 100
集計戸数		84		68		
農業	粗収益	29,991		43,462		
	経営費	28,334		41,449		
	所得	1,657		2,013		
農業 事業 生産 関連	収入	—		—		
	支出	—		—		
	所得	—		—		
農 外	収入	2,698		2,306		
	支出	740		640		
	所得	1,958		1,666		
年金等の収入		692		608		
総所得		4,307		4,287		
租税公課諸負担		1,155		1,316		
可処分所得		3,152		2,971		
補 助 金 等 を 除 く ・ 農 業 収 支	農業粗収益	28,493		41,182		
	農業経営費	27,450		40,077		
	農業所得	1,043		1,105		
区 分		1		2		

※全国平均値は中央畜産会2001.4-2002.3肉用鶏畜産経営診断全国集計より

8.採卵養鶏経営診断比較表(全国平均)

分析指標(8-2)

区分		基準値			経営体	比較値
		平均 (経営全体)A	1000羽 B	3,000羽以上	H 年 C 1000羽当り	C/B×100
農業所得率(%)		5.5%		4.6%		
付加価値額(千円)		3,064		4,166		
付加価値率(%)		10.2%		9.6%		
農業固定資産装備率(円)		2,803		3,155		
収 益 性	農業経営関与者 一人当たり農業 所得(千円)	660		729		
	農業経営関与者 一人当たり総所 得(千円)	1,716		1,553		
	農業専従者 一人 当たり農業所得 (千円)	905		982		
	家族農業労働一 時間当たり農業 所得(円)	386		406		
	農業固定資産千 円当たり農業所 得(円)	105		91		
	採卵鶏100羽当 たり農業所得(千 円)	15		12		
(付 加 生 産 価 値 性 額)	自営農業労働一 時間当たり(円)	546		596		
	農業固定資産千 円当たり(円)	195		189		
	採卵鶏100羽当 たり(千円)	28		26		
(部 門 生 産 性 収 入)	採卵鶏100羽当 たり(千円)	-		-		
	採卵鶏部門労働 一時間当たり (円)	-		-		
(部 門 生 産 性 所 得)	採卵鶏100羽当 たり(千円)	-		-		
	採卵鶏部門家 族労働一時間 当たり(円)	-		-		
区 分		1		2		

1000羽のデータ
がない場合
3000羽/3を適用

※全国平均値は中央畜産会2001.4-2002.3肉用鶏畜産経営診断全国集計より

8.採卵養鶏経営診断比較表(全国平均)

経営の概要(8-3)

(単位: 千円)

区分		基準値			経営体	比較値
		平均 (経営全体)A	1000羽 B	3,000羽以上	H 年 C 1000羽当り	C/B×100
月平均農業経営関与者数(人)		2.51		2.76		
農業専従者数(人)		1.83		2.05		
経営耕地面積(a)		110		106		
	借入地(a)	38		39		
自営農業労働時間(時間)		5,609		6,990		
	家族(結い・手間替受け含む)(時間)	4,291		4,954		
農業固定資産額(土地を除く)(千円)		15,723		22,052		
年末借入金・買掛 未払金残高(千円)		10,618		15,871		
農業負担分(千円)		9,454		14,918		
月平均採卵鶏飼養羽数(羽)		10,832		16,336		
鶏卵生産量(kg)		178,855		269,138		
農業粗収益	合計(千円)	29,991		43,462		
	作物収入(千円)	958		865		
	畜産収入(千円)	27,421		40,222		
	採卵鶏(千円)	27,155		39,841		
	その他(千円)	1,612		2,375		
	共済・補助金等受取額(千円)	1,498		2,280		
区 分		1		2		

1000羽のデータがない場合
3000羽/3を適用

※全国平均値は中央畜産会2001.4-2002.3肉用鶏畜産経営診断全国集計より

8.採卵養鶏経営診断比較表(全国平均)

農業経営費(8-4)

(単位: 千円)

区分		基準値			経営体	比較値
		平均 (経営全体)A	1000羽 B	3,000羽以上	H 年 C 1000羽当り	C/B × 100
農業現金収入		31,129		45,243		
農 業 経 営 費	合計	28,334		41,449		
	農業雇用労賃	1,136		1,755		
	動物	3,467		5,132		
	飼料	17,356		25,860		
	農業薬剤・医薬品	507		747		
	光熱動力	702		944		
	農機具・農用自動車	972		1,218		
	農用建物	1,151		1,629		
	賃借料	364		431		
	作業委託料	77		108		
	その他	2,602		3,625		
	共済等の掛金・拠出金	884		1,372		
農業現金支出		27,054		39,742		
減価償却費		1,284		1,718		
区 分		1		2		

1000羽のデータ
がない場合
3000羽/3を適用

※全国平均値は中央畜産会2001.4-2002.3肉用鶏畜産経営診断全国集計より

9.現在考えている経営の成長目標

(該当する項目に記入)

(採卵鶏 直販)

1.中期目標(H 年)「特色のある〇〇自慢の鶏卵生産体制の確立」→新品種の開発・独自の風味			
項目		平成17年 現在	平成21年 目標
① 生産	鶏舎面積(棟数)	m ²	m ²
	鶏卵生産量	羽	羽
② 機械化管理	機械化導入予定		
③ 品質改善予定			
④ 鶏卵生産費	成鶏100羽当たり	円	円
⑤ 銘柄鶏飼育			
⑥ 環境対応			
2.目標達成のための戦略			
(1) 経営規模拡大による目標生産量の確保手段			
①生産会員への生産技術指導の強化		⑥生産技術研修の実施	
②規模拡大に向けた協力者の確保		⑦新品種の開発	
③機械化と生産基盤の整備推進		⑧研究機関との連携	
④採卵鶏の効率的飼育技術の習得		⑨先進地視察	
⑤出荷体制の強化		⑩各種マニュアルの整備	
		⑪流通チャネルの再構築	
(2) 複合経営の推進			
①鶏卵・廃鶏肉加工食品づくり→ヘルシー志向、高齢化対応			
②直販所の開設 平成 年			
③その他			
(3) マーケティング志向に対応する産品づくり			
		%	OK
①消費者ニーズに即した安全・安心な特色ある商品作り		%	OK
②直販所の開設			
(4) 技術革新			
①省力化			
②飼育方法			
③作業工程			
④加工部門			
⑤その他			
(5) 販売方法		(6) 資本金・運営資金の調達	
①方針の転換		①使途	
②流通チャネルの見直し		②調達先	
(7) 組織体制の見直し		(8) 雇用と労務環境の整備	
		①労働時間	
		②労働条件	